

【22_182技術系メルマガ】トレードは『伸びる場所』で入れれば、勝てる

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日のテーマも、引き続き技術系のお話でお送りしたいと思います。

と言っても、何か新しい知識を、、、というわけではなく

これまでに長くメルマガを呼んでいる方にとっては、どこかでいつか聞いた話を

再度引き出しからとりだすようなお話になります(笑)

┌
└■ 大きく伸びる方に乗るから、勝てる
└──────────────────┘

トレードはそもそも、自分の決めた目線方向に『大きく伸びる』ポイントを掴んだ時に勝てる(利確できる)ものです。

「何言ってるんだ？当たり前だろ」と思うかもしれませんが、トレードの勝ち負けの基本原則はまさにこれであり

逆に、「目線が逆だった」もしくは「動かなかった」時は大抵、建値で撤退するか損切りとなるわけです。

だからこそ、僕らトレーダーはテクニカル分析を用いて

『(傾向的に)大きく伸びやすいポイント』をそれぞれの視点で捉え、トレードをしています。

僕は、その点において『一貫した型』を定め、『短期足のセットアップ』と『中長期の目線』を組み合わせ

エッジ(優位性)の効きやすいポイントを探してトレードする事を心がけています。

ちなみに、改めて復習になりますが、僕がエントリーを検討する前に最初に確認するセットアップというのは

以前から言っているように、小さな短期的もみ合いによってできる『MAの収縮』と

その揉み合いを脱出する『第1波』を認識して、『3波目』を狙うというものです。

▼以前にも呟いたやつ 笑▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1420315359303852034?s=20&t=izDptBI_dE9xD7dbyYb3zQ

短期デイトレのスタイルに転向してから、僕のやり方は多少の改良等を経てはいるものの

原則として上記のツイートの通り変わっていません。

たまにメールで頂く質問で「2波終了⇒3波を見込んで入ったつもりが、貫通されてロスカットを連続した」

というお悩みを頂く事があるのですが

その場合、前提となる短期足(M15足～M5足)のMAが収縮せずに散らばっている状態

(要するに、H1足以上の規模で見れば方向感の無いレンジ状態)でエントリーしていないか？

その点をチェックしてみると良いです。

他にも、最近質問やチャートのやり取りをされていて気づいたことがあるのですが

それはまた後日、改めてメルマガにまとめようと思います(笑)

話を戻して

大抵、3波を見込んでエントリーしたつもりが突き抜けられるというのは

レンジの天井と床を往復している状態が続いて、明確なトレンドが出てないことがあるからです。

この点は「3波探し」に意識が向きすぎて、『目線の確認』や『収縮のセットアップ』を見落としているケースが多いので

注意してみると良いかもしれません。

(「これはどうなの？」と気になる人は、チャート添えてメールくださいね)

僕は『伸びる(伸びやすい)場所』のセットアップを分かりやすく言語化する為に

『収縮』や『3波』という表現を頻繁に用いていますが

本質的に理解してほしいのは、その形をなぞり、追う事ではありません。

最終的には

『MAが収縮しているということは・・・？』『1波が発生して、そこにプルバックが入っているということは・・・？』

要するに、そのプライスアクションが発生したことを受けて、次に自分が起こすべきアクションが何かを把握していること。

そして、その認識と行動に一貫性を持たせ、勝ち負けを繰り返しながらもトータルの収支を プラス で終わらせること。

それが本来、僕らのやるべきお仕事です。

今日は改めて、自分のなかで一貫させている『短期足のセットアップ』の方法と

なぜそれを愚直に繰り返すのか、という話をさせて貰いましたが

インプットが増えてくると、最初に入れたものが端に追いやられてしまうのはよくある事ですので

改めて大事な部分を引っ張り出す感じで文章化してみました(笑)

日々のトレードの点検・見直しに活用してもらえれば幸いです。